

創立 65 周年記念チクルス Part V ～源流から大海へ～

小5 鈴木るり子

この演奏会では、一人一人の大切さがわかり、「団なんだなあ。」と思いました。

今回の演奏会は、お姉さんたちが歌わない、私達新演さんが中心となって歌う戸崎舜裕先生の曲がありました。舜裕先生の曲は、私を入れて三人の新演さんの女子が歌の題名を言います。当日は、真央ちゃんが出られなかったもので、瑞季ちゃんと二人だけで題名を言いました。真央ちゃんを私はとても頼りにしていたので、真央ちゃんが出なかった舜裕先生のステージは、とても緊張し、変更した所もあったので心配でした。真央ちゃんがいなかったからではないと思いますが、題名を言う時に足を開いて言わないでね、と何度も先生におっしゃっていただいていたのですが、本番では足を開いて言ってしまいました。そう考えるとよく司会をする真実さん、お姉さん達は意識出来て、すごいと思います。舜裕先生の曲は、お姉さん達は歌いません。緊張などをしたのには、それもあったと思います。そういった場面で、団員一人一人の存在感を味あわせてもらったり、お姉さん達の大きな温かい存在感、視線などを感じたり、急きよ変更した所もあったり、良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。

第二部では、緊張してしまいましたが、第一部では、まだまだ緊張感もあったけれど、良い緊張感で歌えたと思います。さすがに客席を通って舞台上に上がる時は、お客様との距離が近いし、舞台上に上がってから立つ場所をまちがえたりで、とても緊張してしまいました。その後のポリフォニーでは、自分が新演さんなので、子どもっぽい声を出している様に聞こえてしまいました。でも、楽しかったです。

チャコットぐつは、とてもはきごこちが良く、いつもならすわりたくなってしまう最後の方も、ほとんど気にしていませんでした。買って良かったです。

今回の演奏会は自分が成長した分、楽しく出来たと思います。演奏会に出られてよかったです。出演させて下さって、ありがとうございました。

♪私のすてきな一週間♪ 4/12(日)～18(土) より

鈴木るり子 母

「保護者から先生へ」

お世話になります。演奏会ではありがとうございました。特に弦楽器の演奏にもふれる事が出来た事に感激しました。その中でも、「ヴィヴァルディが見た日本の四季」には、感涙しきりでした。その最中に、ふと横に居る息子を見たら、やはり同じ様に涙しておりました。感覚、感性に訴える崇高なものにふれた時の感動には、年齢は関係ないのだと気づかされました。

自分の、というか人間の本質的な部分が喜んでいた様に思いました。時空間も気持ちが良かったです。本当に日頃の御指導に感謝いたします。

今後ともよろしく願いいたします。

「親から私へ」

演奏会ではあなたの成長を確実に感じる事ができ、嬉しかったです。御指導くださった諸先生方、団員の皆さんに感謝しましょう。

今回の演奏会では、“団”を味わったとの事でしたね。その意味は深いと思います。

これからも自分におごる事なく、一瞬一瞬の時をかみしめながら、謙虚に生きてください。